

海外活動の概要(平成 24 年度岸本国際交流奨学金支援候補者申請書)

① 病院：New Hope Fertility Center(New York City)

診療科：Obstetrics and Gynecology

受け入れ責任者：John Zhang(MD, MSC, PhD, HCLD)

実習内容：一週間当クリニックに勤務する医師を shadowing して様々な業務を見学した。
半日ラボの見学も行った。

Procedure room: 9 oocyte retrievals(8 vaginal, 1 abdominal), 4 embryo transfers, 2 hysteroscopy

Exam room: 4 vaginal sonography

Lab: Stripping, Cryopreservation, Thawing, ICSI(intracytoplasmic sperm injection),

PGD(preimplantation genetic diagnosis)

Office: 3 infertility consultations

得られた成果：日本ではまだ殆ど行われていない mini-IVF(conventional IVF に対して)という最新の不妊治療、そして日本では禁止されている PGD や代理母出産のコーディネーションを見学でき、さらにアメリカの private practice がどのように行われているのかを体験することができた。

期間：1/7~1/13

② 病院：Carnegie South Imaging for Women (New York City)

診療科：Obstetrics and Gynecology

受け入れ責任者：Daniel Saltzman (MD)

実習内容：一週間当クリニックに勤務する医師を shadowing して様々な業務を見学した。

Office: 12 High risk pregnancy consultations, 2 Genetic counseling

Exam room: 8 vaginal sonography, 1 amniocentesis, 2 CVSs

得られた成果：高リスク妊娠専門外来を見学し高リスク妊娠マネジメントの手法を学ぶことができた。出生前診断に関しては amniocentesis や CVS などの侵襲的検査に加え、日本ではまだ行われていない MaternaT21 やエコーを用いた非侵襲的検査を見学することができた。専門資格を持った職員による genetic counseling も見学することもできた。

期間：1/14~1/20

③ 病院：Beth Israel Medical Center(New York City)

診療科：Department of Pain Medicine and Palliative Care

受け入れ責任者：Russell K. Portenoy(MD, Chairman, Pain Medicine and Palliative Care)

実習内容：3 日間 Pain medicine and Palliative care fellows を shadowing し、カンファレンスや講義にも参加した。クリニックの見学も行った。

Wards: 5 palliative care consultations(inpatients), 2 ethic consults, IPU(hospice) rounds and admissions(毎日)

Conferences and lectures:

- Palliative case conference
- 3 Palliative didactics(Music therapy, Pain in sickle cell & AIDS, Radiofrequency neurolysis of spinal facet joints)
- Grand rounds: Integrating spiritual care in palliative care(Rev. George Handzo(BCC, CSSBB))

HPM Outpatient Clinic: 2 epidurals, 1 intrathecal pump refill, stellate sympathetic block

得られた成果：日本ではあまり普及していない緩和医療チームを3日間見学し、その仕組みやサービス内容を学ぶことができた。チームメンバーは doctors, nurses, PAs, NPs, pharmacists, social workers, musicians, priests, chaplins, etc.と多彩な職種で構成され、各症例に対する非常に多角的かつ専門的なアプローチを見学することができた。Ethic consults では医師が自分とは関係ない症例の担当医師と患者の間に入り適切なサービスが行われているかを調査することを見学することができた。全体を通して緩和医療チームのメンバーが患者に接する態度は非常に参考になった。

期間：1/22~1/24

④ 病院：New York-Presbyterian Hospital/Columbia University Medical Center

診療科：Division of Abdominal Organ Transplantation

受け入れ責任者：Tomoaki Kato(MD, Professor of surgery)

実習内容：基本的には Division of Abdominal Organ Transplantation fellow の shadowing を行い、朝は(elective)residents の pre-rounds に参加し、加藤先生の手術の際は手術見学を行った。各種回診、カンファにも参加した。

Weekly events:

- pre-rounds(for ICU)(毎日)
- inpatient rounds, ICU rounds(毎日)
- Selection conference(Liver transplantation)
- Radiology conference
- Q&A conference
- M&M conference

Operations:

- Liver transplantations(1 procurement, 4 recipient surgeries)
- 3 Liver resections
- 1 Whipple, 1 ileostomy, 1 palliative surgery, etc.

Clinics: Dr. Kato's clinic

得られた成果：腹部移植外科の肝臓グループと 4 週間行動を共にし、肝臓移植サービスがどのように患者に提供されていくのかを見学することができた。肝不全患者の初診や他科からのコンサルテーションから始まり、セレクションカンファを経て待機期間の末肝移植を受けるという流れと各段階でどのようなことが行われているのかを良く理解することができた。また手術に関しては、通常の脳死肝移植に加えて split-liver の脳死肝移植、APOLT(Auxiliary Partial Orthotopic Liver Transplantation)を見学することができ、移植以外の手術も 6 件以上見学することができた。APOLT は将来的に免疫抑制剤から離脱することができる非常に画期的な治療法であることを学んだ。1 つの移植症例に関しては procurement から参加し最後にグラフトがレシピエントに移植されるまでを見ることができた。病棟での実習に関してはレジデントに基本的なレジデントの仕事を教えてもらい、回診でのプレゼンテーションまで指導していただいた。カンファでは移植外科医、肝臓内科医、精神科医、薬剤師、PA、NP、social worker の方々が各症例を多角的に検討するのを見学することができた。

期間：1/24~2/3, 2/11~3/3

⑤ 病院：New York-Presbyterian Hospital/Columbia University Medical Center

診療科：Division of Cardiothoracic Surgery

受け入れ責任者：Yoshifumi Naka(MD, PhD, Professor of Surgery)

実習内容：基本的には中先生のシャドーイングを行い、各種回診、カンファに参加した。

Operations

- 1 Heart transplantation
- 5 CABGs(including 1 sequential, 1 on-pump beating, 1 off-pump, 1 re-op)
- 1 LVAD implantation
- 1 LVAD exchange+AVR

Rounds and conferences

- CT ICU Rounds(毎日)
- Cardiac Transplant Rounds(Selection and M%M)
- LVAD Comprehensive Meeting

得られた成果：中先生のシャドーイングを通してアメリカの独立した外科医の仕事を見学することができた。また心移植のセレクションカンファに参加し、心移植手術も見学することができ心臓移植に対する理解も深まった。手術見学に関しては中先生の非常に高度な血管吻合の技術を近くで見学することができ、それ以降の血管吻合に対する見方が大きく変わった。

期間：2/4~10

⑥ 病院：University of Pittsburgh Medical Center

診療科：Department of Cardiothoracic Surgery, Division of Cardiothoracic Transplantation

受け入れ責任者：Norihisa Shigemura(MD, PhD, Assistant Professor)

実習内容：Dr. Shigemura、Dr. Shiose および Cardiothoracic transplantation fellows のシャドウイングを行い、各種カンファ、回診に参加した。

Rounds and conferences

- Pre-transplant patient meeting(Lung)
- Heart transplant selection committee meeting
- Lung transplant selection committee meeting
- Research transplant ex vivo meeting
- Rounds(Heart Tx/VAD, Lung transplant)
- CT department grand rounds

Operations

- 2 Heart transplantation
- 3 Lung transplantation(including 1 OCS™ LUNG case)

得られた成果：心臓および肺移植のセレクションカンファに参加し、心移植 2 件、肺移植 3 件を見学することで両臓器の移植に対する理解が深まった。CT-ICU ではフェローの先生に肺移植後の患者の管理について教わった。手術に関しては上記 5 症例の移植手術を見学し、そのうち一つ OCS™ LUNG を用いた肺移植を見学することができた。この機械の特徴としては輸送中の移植肺を体温で灌流し換気しながら運ぶことができることであった。アメリカでは OCS™ LUNG は治験段階であり本症例は全米 4 例目(全米 2 施設目)の成功例でありこの症例を見学できたのは非常に貴重な機会であった。

期間：3/4~10

⑦ 病院：Hospital of the University of Pennsylvania

診療科：Cardiovascular Surgery

受け入れ責任者：Yasuhiro Shudo

実習内容：Dr. Shudo と共に Dr. Joseph Woo の手術見学を行い、Grand rounds や講演会に参加した。研究室で動物実験も見学した。

得られた成果：Dr. Woo の手術を 20 症例(5 日間)見学し、彼の研究室の動物実験も見学した。手術症例数が多くその上アカデミックな外科医のモデルとして非常に参考になった。動物実験を主導していたレジデントと手伝いをしていた pre-med(medical school 入学前)の学生とも情報交換することができた。また Grand rounds では肺移植を世界で初めて長期予後の意味で成功させた Dr. Joel Cooper の講演を聞くことができた。

期間：3/11~17